

政策実現へ

政策や行政の理論を学び

自治体職員向け



2026年度
春学期開講

※本プログラムは文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定されています。

政策課題研究プログラム I

プログラム概要

行政組織や行政手法、法制度等の理論的な知識や先行事例の取組の分析等を通じて、実務的な知識を得るとともに、行政課題に関するPBL型の演習授業（Project-Based Learning、課題解決型学習）を通じて、課題解決へと導くことができるようになるためのノウハウを身に付けます。

定員 5名

費用

選考料：10,000円 履修料：95,000円

総授業時間 60時間

必修科目1科目（1単位）＋選択2科目（4単位）分の費用

選択科目を3科目以上履修する場合、1単位につき23,000円を加算

※本学卒業生および修了生は割引制度あり

出願期間 2026年1月13日（木）～1月22日（木）消印有効

https://www.chukyo-u.ac.jp/educate/hass/programs.html#policy_task

SCAN ME!



受講者の声

豊田市職員



これまで自治体職員として働いてきましたが、学問として政策を学び直す機会はありませんでした。今回のプログラムを通して、これまでの経験も交えて実感する学びが多く、今後の業務にも大いに役立つと感じました。10年目くらいの職員にぜひ受けてほしいです。

大府市職員



リスクリングは、地方自治体公務員である自分とは関係ないと思っていましたが、受講してみると、満足度が高いものでした。私は、大学時代は行政学・法学とは全く異なる学部だったこともあり、基礎を学び直せた上、実務経験がある中での受講のため、つながりが分かり、理解度も高く受講することができました。

あま市職員



プログラムの受講を通じ、課題解決に向けた政策分析力や幅広い分野の視座を身に付けることができました。履修を終え、「向学心」に大きな変化があり、学問や自己啓発、授業で扱った図書を読み返すこともあり、学びへのアクセスが自然なものになったと実感しています。

刈谷市職員



自治体政策に携わる者として必須の知識を得ることができました。プログラム内では、理論と実践を学び、その学んだ知識を自市の政策課題に落とし込むという一連の流れを経験することができ、自治体職員としてステップアップできたと感じています。



過去の取組課題例

1	企業と連携した消防団へ	4	人生100年時代における高齢者の活躍
2	学校内フリースクールの提案	5	大学生等を対象とした奨学生制度の改善
3	遺品等の整理への公的関与のあり方	6	市民協働による夏祭りへ

授業科目一覧

平日夜や土曜開講で働きながら学ぶ方を応援！！

授業時間帯

1限：09：00～10：30 2限：10：45～12：45
3限：13：10～14：40 4限：14：55～16：25
6限：18：20～19：50 7限：19：00～20：30

必選	科目名	担当教員 (予定)	総授業時間	実施方法	曜日
必修	政策課題研究Ⅰ	桑原英明（専任教員） 今井良幸（専任教員） 北川雅敏（外部講師） 所俊邦（外部講師）	90分×10コマ	対面授業 (希望者はオンライン受講可)	土曜 ※詳細は下表参照
2科目以上選択	行政学特論Ⅰ	桑原英明（専任教員）	90分×15コマ		月曜7限
	公共政策特論	北川雅敏（外部講師）	90分×15コマ		土曜 ※詳細は下表参照
	自治体政策特論	所俊邦（外部講師）	90分×15コマ		
	自治体法特論Ⅰ	今井良幸（専任教員）	90分×15コマ		

2026年度土曜開講科目のスケジュール（予定）

科目名	4/11 Sat	4/18 Sat	4/25 Sat	5/9 Sat	5/16 Sat	5/23 Sat	5/30 Sat	6/6 Sat	6/13 Sat	6/20 Sat	6/27 Sat	7/4 Sat	7/11 Sat	7/18 Sat	7/25 Sat
政策課題研究Ⅰ			3・4限		3・4限			3・4限		3・4限					3・4限
公共政策特論		1・2限		3・4限	1・2限		3・4限		1・2限		1・2限		1・2限		1限
自治体政策特論		3・4限	1・2限				1・2限		3・4限	1・2限	3・4限		3・4限		2限
自治体法特論Ⅰ	1～3限			1・2限		1～3限		1・2限				1～3限		1・2限	

修了要件

以下の修了要件を満たした人には、履修証明書を発行します。

- ① 必修科目1単位、選択科目から2科目4単位以上を修得すること。
- ② 研究科委員会が上記①を確認のうえ、修了を認めていること。